

# 八幡神社の歴史

大館八幡神社は慶長十五年(一六一〇)に、大館初代城主小堀義成が常州より大館城内に遷宮し、

二代義易が現在地に鎮安したものです。昭和四年には拜殿が建築され、



四十三年、「八幡神社神殿一対が県重要文化財に指定されました。この一対の神殿は八幡神社本殿の中に収められていますが、向って左を大八幡(本宮)、右を小八幡(若宮)と呼ぶ。

(注) 大館市史を参考にしました。

バスで、鳳鳴高校前下車、徒歩2分。鳳鳴高校うら

# ちびっ子ギャラリー



いけがみまさひとくん  
おとうさんと海で遊んでたのしかった。



さいとうめぐみさん  
いつもおとうさんと一緒におフロに入りました。

# おとうさん



さくらばけんじくん  
かっこいいおとうさんが好き。

# 城南保育園

▽中央公民館  
昭和六十一年一月、市民文化会館となりオープン。▽サン・アビリティーズ大館  
中央公民館と廊下で結ばれている施設で、働く障害者の健康増進や教養文化の向上を図るとともに、市民との交流を深め合うために活用されています。

▽県立大館南高等学校  
昭和三十三年三ノ丸に開校。萩野台へ移り、昭和四十二年現在の狐台へ移築。現在の生徒数五百七人。

▽県立大館鳳鳴高等学校  
明治三十一年、秋田第二尋常中学校として開校。昭和二十三年大館鳳鳴高校となる。現在の生徒数千四十一人。

▽その他の主な施設  
・小柄沢墓地公園  
・城南小学校  
・城南保育園  
・長根山運動公園ほか

# ミニガイド

# 地名の由来

部垂町・佐竹行義(七代)の弟、部垂義元が住んだことからこの地名が付けられた。

片町・北側が桂城の掘で、南側にだけ家があるため片町と名付けられた。

裏町・城門の裏になっていたことから名付けられた。

向町・裏町の沢をひだてて向にあったため。

桜町・昔は郊外で、桜の木が多かった。

田代町・田代神社があった。別名南

# 人物登場

## 弁説さわやか

鳥潟幸藏さん (相染町・80歳)

子供のころから活動写真のファンであった鳥潟幸藏さんは、十五歳のとき、活弁士の募集を見てこの道に入り、県内をはじめ東北各地の映画館で弁士活動をしてきたそうです。その後、映画もトキーに変わり、活弁士が必要なくなったので鉱山職員に転職しました。昭和五十一年ごろからは、市内でフィルムのコレクションでは有名な吉田一雄さんとコンビを組んで公民館や老人ホームを回りながら、昔懐かしい「ホトトギス」などの映画を上映し、当時ならしたのどを聞かせています。「このような活動の基本は、弁士として当時日本でも一、二といわれた駒田好洋先生の話された『映画は社会教育の資する娯楽の

新道、扇田新道とも言われた。馬喰町・昔は馬市がたち、馬喰宿があったことからこの地名が付けられた。このころは、貸座敷や、料理店などがあり馬売人などを遊ばせた。

風呂屋町・約三百年前から風呂屋があったことからこの地名が付いた。

新町・延宝三年(一六七五年)都市計画の際、新しくつくられた町のために付けられた。

柳町・大きな柳が繁っていたことからこの町名となった。

一心院町・一心院の門前であることから名付けられた。

根源である。」という言葉が心に残っていたからです。

「吉田さんといっしょに各地区を回るにあたり、吉田さんの所蔵している「ホトトギス」を見せてもらいましたが、原作は一時半のものであったがフィルムの傷みがひどく、三十分ぐらいしかなく、この台本を作るのが容易でなかった。映画を上映して歩くと、若い人たちからお年寄りまで喜んでくれるので、これからも元気なうちは続けたい。また、このごろテレビに押され映画がすたれてきているようで、悲しいことです。」と話していました。



◆次回は「矢立編」をお送りします。